

Page 8 - Chapter 0

Sentence 1

他们从办公室里爬出来，那些办公室门上的磁性白板用字母拼出了这样的标牌： 占领区 坦克中的骨头、教育人民委员部、愤怒的用户、杜罗夫博物馆等等。

彼らはマグネットボードのある部屋から這い出てきた。そのボードには「スクワット・戦車の中の骨」、「ナルコムプロスヴェート」、「怒れるユーザー」、「ドゥーロフ博物館」などの看板が文字タイルで綴られていた。

Sentence 2

大多数人穿着 恤，用腰带束在高腰处，有些人则骄傲地把衬衫扣到最上面的扣子。

やって来た者のほとんどは シャツをベルトで腰より上に留めており、誇らしげにシャツの一番上のボタンまで留めている者もいた。

Sentence 3

这些奇怪的人看起来像是从保罗 格雷厄姆的文章《为什么书呆子不受欢迎》里走出来的一群书呆子，他们从物理奥林匹克竞赛中逃出来，在一个荒岛上建立了自己的国家。

奇妙な人々は、ポール・グレアムのエッセイ『なぜナードは人気がないのか』から飛び出してきたようなオタク集団のようだった。彼らは物理オリンピックから逃げ出し、無人島で自分たちの国を建てたのだ。

Sentence 4

书呆子们围成一圈，仔细聆听谈判的细节。有人从榨橙汁的机器里倒果汁。有人忘了自己来干什么，讨论起 的功能来。

ナードたちは輪になって、交渉の詳細に聞き入っていた。誰かがオレンジを絞る機械からジュースを注いでいた。誰かは何をしに来たか忘れて、 の機能について議論していた。

Sentence 5

有一个精彩的时刻，首席程序员转述道。他对我说：你们想要 ，但我们最多只能给 。然后帕维尔说： ！书呆子们都笑了。

「すごい瞬間があったんだ」とリードプログラマーが語った。「相手が言うんだ『あなたたちは を望んでいるが、 以上は出せない』と。するとパーヴェルが『 だ！』とね」ナードたちは微笑んだ。

Sentence 6

老员工们还记得领袖如何改变自己，学会了礼貌地无礼。

古参たちは、リーダーがどのように自分を変え、礼儀正しく失礼になることを学んだかを覚えていた。

Sentence 7

就应该这样戏弄商人，有人说。我们在做关乎未来的重要事情，何必在什么百分比上浪费时间。

「商人はそうやってからかうべきなんだ」と誰かが言った。「我々は未来にとって重要なことをやっているんだ、なぜパーセンテージごとに時間を無駄にする？」

Sentence 8

透明的立场效果很好，谈判者补充道。是的，当然，领袖点头说，当你不说谎时，别人就无法操纵你。

「透明な姿勢はうまくいく」と交渉担当者が付け加えた。「そうだ、もちろん」とリーダーが頷いた。「嘘をつかなければ、操られることはない」

Translator Notes

- Page 8 describes the quirky VKontakte office culture
- IE Squat (Internet Explorer) - likely reference to Internet Explorer testing/support team
- Narkomprosvet (Ministry of Education) - Soviet-era Education Ministry, ironic office name
- Paul Graham reference - Y Combinator founder, essay on nerd culture
- C++ discussion - showing programmers prioritize technical talk over business
- Durov's philosophy: 'when you don't lie, you can't be manipulated' - key quote